

所信表明

鈴木 弘

昨年 9 月、議長を含む 3 人が有罪判決を受けるという前代未聞の不祥事が起き、富士宮市議会の信用が失墜したことは忘れることのできない事件です。富士宮市議会の信用回復のため私も政治倫理条例制定特別委員会委員長としてその一端を担って来ました。引き続き信用回復を求めて努力していく必要性を感じ、その先頭に立つべく立候補を決めました。

信用回復を遂げていくためにはまず二元代表制の一翼を担う議会の役割を最大限果たすことと考えます。議会の役割とは議決権、監視機能、政策提案であります。議決権についてはしっかりと市民に説明のできる決定をするということです。監視機能及び政策提案は特に常任委員会の場において発揮されることと考えますが、監視機能については様々な権限を活かす等、その能力を高めなければなりません。政策提案についてはこれまで当議会は再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例の策定、工業団地に関する提言、公共交通の確保についての提言、滞在型観光についての提言、またごみ処理に関する提言等を行い市の政策決定の推進力になってきたと考えます。今期も各常任委員会が政策課題を掲げ、研究を進めていますがよりよい内容で提言等がまとまるよう議会運営を図っていきたいと思います。

こうしたことを堅実に実行していくことが議会の信用回復への道すじであると考えます。世の中は不安定な状況が続いていますが、市民の皆様が安心して暮らすことができ、幸福感を高められるよう、市民と共に歩みつつ住民福祉のために活動する議会を目指して取り組んでいく所存です。

議員各位のご理解とご協力を賜り、何卒ご支援をお願い申し上げ、議長選挙の立候補に当たっての所信表明と致します。よろしくお願いいたします。